

市報

やまぐち 6月1日



—写真はみそ汗をのんで塩分の味覚テスト—

健康な生活をおくろう

成人病（血圧）学級開く

名田島地区では、成人病を追放しようと、農繁期を前に血圧の高い人によりかけて、公民館で成人病（血圧）学級が開かれました。これは医師、保健婦、栄養士の三者が一体となって、血圧と深い関係にある脳卒中について、正しい知識を身につけて健康な生活を過ごしてもらうもので、この日、地区民百人が参加して、熱心に聞き入っていました。この名田島地区は健康管理について関心が高く、毎年行なわれる結核レントゲン検診も市内一の受診率をあげています。特に社会福祉協議会、婦人会が中心となって、レンタルゲン検診に合せて、三十九年から四十才以上のかたには血圧測定を行なっています。

このたびの成人病学級も、この十年間の記録にもとづいて、要注意者百二十人を対象に開かれたもので、成人病予防のきめてとなる早期発見、早期治療におおいに役立っています。

おもな内容

- ・水害に備えよう
- ・水の不安をおわびします
- ・市議会議長・副議長
- ・きまる
- ・駐車禁止・速度制限、近く交通規制される
- ・初夏をいろいろな自然
- ・山口市の同和問題
- ・お知らせ

49年度下期財政公表
6~7ページ
■お知らせ
4ページ
■山口市の同和問題
3ページ
■初夏をいろいろな自然
3ページ
■駐車禁止・速度制限、近く交通規制される
3ページ
■お知らせ

昭和50年6月1日

ゲンジボタル

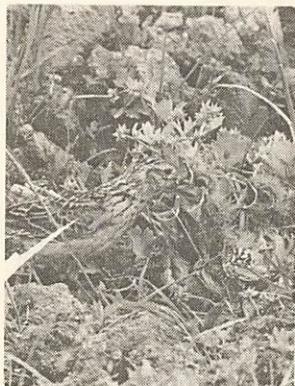
水辺の間をぬって、美しい光を点滅させながら飛び交うホタルは、初夏の風物詩として、日本人には古くから親しまれてきましたが、近頃河川が汚れそのホタルも全国的にすくなくなつたといわれていますが、山口には、市内の榎野川、一の坂川を中心には、山がくればホタルの乱舞が見られるのは、山口の川の清浄さを証明しているようで、うれしいことです。

ゲンジとハイケ

日本に産するホタルの仲間は十種ぐらいであるといわれてます。ゲンジボタルはからだも大きくて、光も強く美しいので、いまま天然記念物に指定されているのはゲンジボタルの発生地が主です。ゲンジボタルはきれいな流れに住むので、その産地は限られます。

幼虫時代は水中

ゲンジボタルもハイケボタルも成虫になると、二週間ぐらい



6月のこよみ

山都山口をつつむ若葉のみどりが濃くなる月。この良い自然環境をいつまでもたいせつにしよう。山口の夏の代表的な風物詩のホタル、ことしはどうなった生状態でしょうか。

■1日 あゆ漁解禁。

■4日 むし歯予防デー。子どもたちに特に注意して早期治療を。

■10日 時の記念日。サビエルが時計をつたえたという山口。お互時間尊重しよう。

■11日 入梅。田植にはありがたい雨。だが車のスリップや子どものかささし事故などもおこりやすい。注意を。

■12日 伝染病予防週間。梅雨中は食中毒の起りやすいとき、また、日脳の予防注射などは進んでうけて健康な夏を送ろう。

■22日 夏至。本格的な夏も近い。梅雨の晴れ間などを利用して家の内外の掃除をして、清潔な生活を。

■田植 山口市の北部仁保地区は五月中旬からはじまるが、南部の名田島は六月下旬になる。田植機の普及で早乙女の姿がすくなくなった。今年の豊作を祈る。

<俳句>

名田島句会 実近 喜作
田仕事の始め総出の溝浚え 毛利山功雄
老木も新樹となりて威を示す 平川野菊句会 八木恵美子
休漁やあじさいいまだ色もたず
若布売り二人連なる島言葉 宮田啓朗子
又野 敏子
ここまで日記書く母夏に入る

す。上陸後土マユを作るまで二週間、サナギになるまで三週間、ふ化するまでに更に三週間かかります。土マユの中ではサナギは脱皮してふ化し、土マユをこわして飛び出しますが、それは五月下旬から六月上旬の頃で

初夏をいろどる自然

天然記念物のホタルとハナショウブ

十年に国の大天然記念物に指定された。このホタルが永久に住むことのできる山口であつてほしいものです。

ままの自然が残っていて、そこに人工のくわわらない花などをみることができます。

ノハナショウブ

日本の国土は、ほとんど開発しつくされたような感じですが、まだまだ山奥などは大古の

色とりどりの美しさ

小鰆稔畑のノハナショウブは山口市と防府市との境界近くの標高二百八十メートルの山中の湿地帯に自生しています。ここは稔畑

まだ、いたるところに昔のままの自然が残っています。くふるさと山口「わたしたちはいつもこれを大切に守る心がけを忘れないでいたいものです。近ごろ、ハイキングなどで、野山の草木を掘りとったり、折る人などがあつてこまるという苦情があります。自分だけのものにしたいという気持ははすてて自然のものはたいせつにしまし

れています。春先になつて水温が上ると再び餌をあさりだします。そして、四月中頃水から上つて、川岸の土中に三つばかりもぐつて、土マユを作り、その中で脱皮してサナギとなりま

きれいな河を
ホタルが河に住みつくということは、河の水がきれいかどうかということです。

山口のゲンジボタルは、昭和



山間にさくです。
20日ごろは6月
ノハナショウブ。見ごろは6月

古くから山口はホタルの名所

大内氏の時代から山口では、毎年旧暦の四月二十日をホタル合戦の日といい、ホタルの縁日として、この日はホタルを捕ることをせず、かごに銅つておいたホタルも外に放つ風習があつたといいます。

の部落から二キロばかり山路を登ったところで、公害を知らない自然界です。公

ノハナショウブとは、いわゆる野生のハナショウブですが、日本では東北地方に多く残っているといわれています。野生ですから、栽培されているハナショウブよりは、花は小さく、色はむらさき、白、しぶり、えんじなどがあつて、その群生は美しいものです。このよう

うに花の色の変化のあるものは、全国他の自生地にくらべて珍らしいといわれてい

ます。

自然を守ろう

。下湯田小路線（大歳、平川地区）三十キロメートルに、国道九号線山口マツダ株式会社横から石津橋を経て、県道陶、湯田線までの区間。

。田屋島岩富線、岩富連絡線、大歳停車場線（大歳、平川地区）三十キロメートルに、国道九号线から大歳駅、高田橋を経て県道陶、湯田線までの区間。

。東原深野線（大内、仁保地区）四十キロメートルに、大内中学校西側の市道で、長野八幡宮を経て、仁保農協下郷支所までの区間。

。大内鹿野線（大内、仁保地区）四十キロメートルに、国道二六二号線矢田交差点から、国道三七六号線（仁保井関田新橋交差

駐車禁止

。交通事故防止のために、次の場所が駐車禁止、速度制限、右折禁止に近く規制されます。

交通規制

近く実施

。国道二六二号線を山口方面に向って、新黄金橋からの右折点までの区間。

右折禁止

。国道二六二号線を山口方面に向って、村重石油店前からの右折。

心配ごと・結婚相談日

毎月開いています

市内の中小企業のみなさん
夏場資金を融資します。運転資
金としてご利用ください。

融資目標額

二億四千万円

融資対象

市内に事業所をもち、
引き続き一年以上同一事
業を営んでいる中小企
業者

中小企業基本法
に定める中小企業者

法律・人権・生活・行政相談
青少年・教育・身障者・精薄
者福祉相談

同和問題を考える

家庭、隣近所、地域社会の偏見や因習などからくる差別的態度に影響される時期であり、理由のわからぬままに与えられた偏見に、たやすく同化やすいので、この時期の児童の指導は、生活を中心とした心情の陶冶に重点をおいて進められています。

小学校低学年の学習

山口市の同和問題―学校教育では(5)

日々の生活の中で生まれた事例を学習内容として取りあげ、問題点の解決について学習することに重点がおかれていました。小学校低学年での同和教育のめあては、主として次のとおりです。
弱い者いじめをしないよう



中小企業のみなさん 夏場資金を融資します

(4) 済
手形貸付けまたは手形割
引
(5) 貸付け方法
融資利率
年八・二五以内
保証人・担保
取扱い方法
の方法
取扱い期間
六月三十日まで
取扱い金融機関
山口信用金庫、山口銀
行各支店
申し込みは金融機関の窓口へ申請書をそえて申し込む。

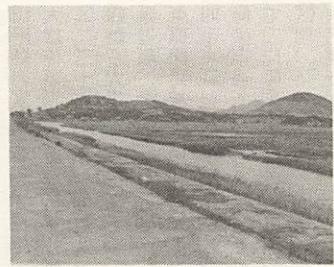
小ぶりの地名 (二島) 幸崎

残っているというわけである。この地方ではたいへん古い時代に塩をつくったといわれるが、この山には神をまつたものであろう。それで古くは神崎と書いたものが、後に同音である幸崎という字をあてたものであろう。

ここに宮山という小山があるが、この山には神をまつたものであろう。それで古くは神崎と書いたものが、後に同音である幸崎という字をあてたものであろう。

製塩土器も多く出土する。

奈良の平城京跡を先年発掘していたら、長さ二十五メートルの木の札がみつかった。それは吉敷郡神崎の阿曇五百呂が、税として塩を一斗送った荷札である。この神崎とあるのが今二島の幸崎のことである。そうすると、幸崎は山口市内では一番古い記録が



若草アート クラブ

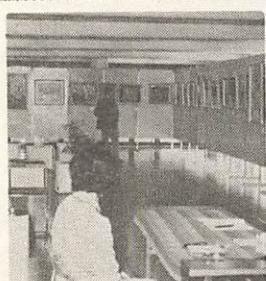
静物、人物、風景画と、6号から40号の作品六十五点のグループ展をこのほど市民会館展示ホールで開いた。

「なんだか恥しかったですがこうして会場に並べてみ

ましたら、教室で見る時よりもとよかって、あらためて見なおす機会となつて自分自身がよい勉強になりました」と、ある会員。

四十八年に中央公民館が開いた絵画入門講座の修了生がこのままやめるのでは残念と心がよい勉強になりました」と、ある会員。

四十八年に中央公民館が開いた絵画入門講座の修了生が十五人で発足した。全員が家庭の主婦で講座に参加するまでは絵筆を握ったことのない人が大半だったが、絵の具のニオイに引かれ無中になり、今はりがけて毎週木曜日の例会が待ちどおしい。「家事をやりくりして出席する例会は生活に楽しいです。」先生は光永直人さん、会長は小島ユタカさんです。





▲ 勉強するお年より

心身とも健康に過すために、毎年開かれている「西京老人だいがく」が5月15日に開かれました。参加者は69人。市政や時事問題などの勉強や健康診断、レクリエーションを楽しみました。



▲ 子ども会スケッチ大会

白石地区子ども会写生大会が、5月11日亀山公園で開かれました。子どもたち65人が参加して、つきそいの親たちもいっしょに思い思いに絵筆をはしらせました。



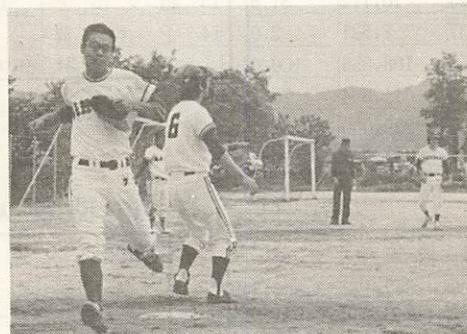
▲ みどりの風の中で

アイリンピックが5月11日陸上競技場で開かれ、児童福祉施設の子どもや保育園児たち2,000人が参加して、楽しい一日を過しました。



▲ 陶隣保館が完成

陶、丸尾地区に隣保館が完成しました。総事業費は3,880万円。コンクリートブロック造り2階建てで建物の面積は323.5平方㍍で学習室、料理講習室、講座室、会議室などが備わっています。



▲ 勤労青少年スポーツ大会

勤労青少年スポーツ大会が5月11日鴻南中グラウンドで開かれました。市内の事業所から10チームが参加。ソフトボール(男子)で市農協、バレー(女子)で杉本スポーツが優勝しました。

東・西・南・北



相手の立場で



相島博美さん
東山2丁目

法であることを知りました。
「人の目(心)を損つたな
らば、自分の目(心)をくり
ぬいて償いなさい」という意
味でしよう。

何かにつけて考えることで少
しが、私たちは自由の中でも少
しが、家庭や職場などの集団の中
で生活していく、もっとも必
要な気持ちだと思います。
これから私も結婚して、家
庭を築いていく上でも思いや
りの気持ちを忘れないも
のです。

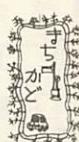
私たちが報復の意味でよく
口にしている「目には目を」
ということばがあります。

私はこれが聖書中の一節
であることを、本を読んでは
じめて知ったのですが、報復
の意味だけでなく、償いの律
法であることを知りました。

40年つづく
川柳商法

店の軒下にかけてある黒板
に、商品の宣伝や季節の話題
をおりこんだ、俳句、川柳調
で軽妙な文句が書いてある。

名田島の名物として、地元
の人びとや道ゆく人の心をや
わらげています。



商店の屋号も「豆百貨」、
昭和のはじめ大福もちの宣伝
に「成金もちわざか二銭で百
万長者になる薬」としたため
たのがはじまりで、これがお
おうけにうけた。

これを書きはじめて四十年
いまでは店の前をとおる人も
黒板がないときひしいので、
早く書けとハッパがかかると
か……

